

高齢者を対象とした防火防災講演会を開催

尾三消防本部

尾三消防本部では、令和元年5月31日（金）・6月26日（水）、日進市及びみよし市において、健康で働く意欲のある高齢者（主にシルバー人材センターに登録する会員等）を対象に防火防災講演会を開催し、340名の参加がありました。

講演会は「自分の命は自分で守る」をテーマに吉村減災支援センター長を講師に招き、万一災害が発生した場合に的確に行動できるための方法を学びました。

この講演会を通じ、高齢者への防火・防災に関する動機付けや意識の高揚が図ることができました。



新千里消防署開署式を挙行了しました

豊中市消防局

豊中市消防局では、平成31年4月から、新千里出張所を新千里消防署へと改編したことに伴い、平成31年4月2日に、長内繁樹豊中市長をはじめ多くの方を招いて、新千里消防署開署式を開催しました。

長内市長からは、「火災予防広報活動の更なる充実を図り、消防・救急救命体制の充実をより推進していただければと思います」との式辞をいただき、常松幸雄消防署長は「署員一人ひとりが士気を高め、安全・安心の向上を推進してまいります。」と力強く決意表明を行いました。



除幕式



消防署旗授与

消防通信

望

楼

ぼうろう

平成30年度阪神地区消防長会実務講習会を実施しました。

阪神地区消防長会

兵庫県の阪神地区10消防本部で構成する阪神地区消防長会では、2月6日（水）西宮市役所東館で平成30年度実務講習会を開催し、約200名の職員が受講しました。

講習会は、大阪市立大学大学院の首藤太一教授を講師に招き、「『気づき』をうながすコミュニケーションって？」をテーマに、ご自身の経験談等を織り交ぜながら、市民接遇や部下指導に際して、求められるコミュニケーション力について、講義をしていただきました。

消防業務を行ううえで、非常に参考となる貴重な講習会となりました。



講習会の様子

3次医療機関合同症例検討会を開催

熊本市消防局

熊本市消防局では、令和元年6月28日（金）「集団災害」をテーマに管内全ての3次医療機関（国立病院機構熊本医療センター、済生会熊本病院、熊本赤十字病院、熊本大学病院）と合同症例検討会を開催しました。

本症例検討会では、国際スポーツ大会（ラグビーワールドカップ、女子ハンドボール世界選手権）の開催を前に、集団災害についての現場対応や医療機関との情報共有、意見交換を行いました。

今後も同検討会を開催し、集団災害対応能力の向上並びに医療機関との連携強化に努めてまいります。



意見交換会



研修の様子

消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】